

熊本県立菊池高等学校の取り組み

(学校の太陽光発電設備の概要)

設置年度 : 平成19年度

容量等 : 65kW

設置場所 : 校舎(4階建5,147㎡)屋上

発電した電力の利用形態 : 電力会社との系統連系を行い、学内全体の電力として活用

余剰電力の売電 : 実施

環境エネルギー教育 : 太陽光発電等を用いた環境配慮型の学校づくり

NPO、ボランティア、企業等の協力 : 特になし

その他 : 特になし

(太陽光発電等を用いた環境配慮型の学校づくり)

熊本県立菊池高等学校では、太陽光発電設備に加え、管理棟屋上の緑化、大型の雨水貯水槽の設置、内装・建具に育友会(保護者会)林の木材を使用するなど、地域の協力を得ながら、環境に配慮した整備が行われている。正面玄関横には、太陽光発電状況表示モニターも設置され、生徒や職員だけではなく、地域の方々の環境意識の向上にも寄与している。

また、施設整備を契機に、「エコスクール日本一」を目標に掲げ、生徒会を中心とした「エコスクール委員会」を設立するなど、積極的なエコ活動が実施されている。

[太陽光発電状況モニターによる意識啓発]

発電量などが分かる太陽光発電状況モニターを管理棟正面玄関横に設置している。

太陽光発電状況モニターには、発電量に併せて、CO2 排出抑制量やその森林換算面積などが表示され、その成果が一目で分かり実感できるため、それが生徒のエコ活動に対するやる気と、環境意識の高揚へとつながっている。



太陽光発電装置と屋上庭園



管理棟玄関脇に設置されたモニター



木質化された廊下

[エコスクール日本一]

太陽光発電等の施設整備を契機に「エコスクール日本一」を目標に掲げ、環境配慮型の学校づくりを進めており、その一環として様々な活動を行っている。

- ・生徒会を中心としてエコスクール委員会を設立しており、生徒による昼休みの全校一斉消灯や校内放送での節電・節水の呼びかけなどを行っている。
- ・ボランティア委員を中心に定期的に学校周辺の清掃活動を実施している。
- ・生徒を対象とした太陽光発電の有識者による「エコスクール講演会」を実施した。

これら以外にも、菊池市内の小中学校と合同で行う市内清掃活動、文化祭での保健委員会のエコスクールをテーマとした発表など、様々な活動を行っており、環境問題に対して主体的に行動する実践的な態度や資質・能力の育成を行っている。



昼休みに消灯された教室



清掃活動の様子



文化祭での保健委員発表にあたりリサイクルのために集められたペットボトルのフタの一部

〈活動を終えて〉

[生徒の声]

私は、新校舎になってから、太陽光発電のモニターを見るたびに、自然の大切さを感じ、環境についてよく考えるようになった。できることから取り組もうと参加した生徒会主催地域清掃活動でも、自分たちが人の役に立つことのできる存在だと気付かされた。地域を清掃する中で、住民の方に「あなた高校生ね？ありがとうございます。」と声をかけてもらいとても嬉しかった。

[先生の声]

菊池高校生はボランティアに対していつも積極的に臨んでいる。太陽光発電等の施設整備を契機に教育活動の中で太陽光発電の意義などを伝え、環境意識の向上を図っており、生徒会主催ボランティアにおいては、各回150人を越える生徒が地域清掃活動に協力をしている。

また、将来の進路実現の目的として介護施設や病院、学校などへ行きボランティア活動を通して人とのつながりや、感謝の気持ちを持つことの大切さ、自分自身を見つめ直す機会が作れているように思える。そのことが、生徒自身の学校生活や進路決定への大きな自信となっている。今後は、さらに近隣校と情報を共有し、またボランティア活動を通して仲間作りや自分磨きに取り組んでくれることを望んでいる。

〈今後に向けて〉

太陽光発電等の施設整備を契機に、生徒を主体とした様々なエコ活動が推進されている。これが、一人一人の環境意識の向上や主体性の育成につながっており、生徒一人一人が配慮し、エコスクール日本一を目指すかたちができあがってきているように感じられる。

今後も、「環境への理解を深め、環境を大切に作る心の育成」、「一人一人が環境保全やよりよい環境の創造のため主体的に行動する実践的な態度や資質・能力の育成」等を目標として、環境教育を総合的な学習の時間の柱の一つに据えて、活動を行う。

具体的には、[学校版 ISO 宣言を目指しており](#)、これまでの活動と併せて積極的に活動していきたい。